

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2024年6月15日

事業所名：Kid'sTech尼崎

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価（実施数20名）				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	わからない	どちらでもない	いいえ	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	十分なスペースを確保している。	19	1	0	0	引き続き現状維持につとめます。
	2 職員の適切な配置	普段から多めに配置している。	16	2	0	2	普段から多めに職員を配置するように心掛けています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	視覚的にシンプルでわかりやすいもの(絵カードなど)を掲示している。 バリアフリー化を意識し教室の移転を行った。出入口は、スロープ状になり段差のない環境を整備している。	18	2	0	0	引き続きお子さまの1人ひとりの特性に合わせて、指導環境をつくるように配慮して取り組んでまいります。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々、衛生的な環境を保てるように清掃・消毒を行っています。教室はもちろんの事、車内に置いて、清掃・消毒の徹底を行っている。	19	1	0	0	引き続き、日々の清掃・消毒を徹底し現状維持につとめます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	2週間に1回教室会議、1か月に1回の教室長会議、2か月に1回全体会議を実施。その他、毎日の業務開始前と終了後の振り返りを行っている。	/				/
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	1か月に1回の教室長会議の中で、他教室の児童発達責任者が情報共有と評価し合う場を設けている。	/				/
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	社内研修で職員スキルを磨けるような場を設けている。	/				/
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	日々の関わりや授業の中で本人の特性等を細かく記録し、計画査定時に活用して書類の作成を行っている。	20	0	0	0	引き続き現状維持につとめます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	査定した計画どおりに支援がなされているかを教室会議や日々の振り返りの中で、職員同士で確認を行っている。	/				引き続き現状維持につとめます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載		18	1	0	1	引き続き現状維持につとめます。
適切な支援の提供（続き）	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援記録を作成し、支援方法や内容を確認を行いながら、実施している。	19	1	0	0	引き続き現状維持につとめます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	制作会議と、SST会議を1か月に1回行っている。また、日々、振り返りを行い向上をしている。	/				/
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	定期的な面談時に確認を行い、必要なサービスに合わせた対応を行っている。	/				/
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	制作会議と、SST会議を1か月に1回行っている。また、日々、振り返りを行い向上をしている。	13	4	1	2	引き続き現状維持につとめます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前の毎日の朝礼時に、利用者さまの注意事項や内容や役割分担を確認して抜けがないように共有を行っている。	/				/
9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎日の終礼時には、振り返りや必要な支援方法の共有を行っている。また、随時気になる点は教室のグループLINEで共有を行っている。	/				/	

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価（実施数20名）				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容					
			はい	わからない	どちらでもない	いいえ						
10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日の終礼時には、振り返りや必要な支援方法の共有を行っている。また、随時気になる点は教室のグループLINEで共有を行っている。毎日挙げる報告では上席と確認しながら支援方法を考えている。										
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し						個別支援計画の達成時期に合わせてモニタリングを行い、担当者会議を実施することで見直しの必要性を判断している。				
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	最もふさわしいものが参画している。									
	2	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	事業所の医療連携体制の確保はできている。但し、受け入れ実績なし。									
	3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備										
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間の支援内容等の十分な情報共有	情報提供を行い、共有している。									
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	情報提供を行い、共有している。									
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	職員のスケジュールと調整し、積極的に受講している。									
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	保護者さまからの要望がない為、実施を行っていない。					13	1	0	6	今後、地域においてプログラミングワークショップ等を通じて、地域の方と交流の場を作りたいと考えております。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	長期休暇の際に、プログラミングワークショップ等を行うことで、地域の方に優先的に参加してもらっている。									
保護者への説明責・連携	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に書面を提示しながら、詳しく説明を行っている。	17	2	1	0	引き続き現状維持につとめます。				
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	契約時や定期的な面談等で説明を行っている。	20	0	0	0	引き続き現状維持につとめます。				
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレント・トレーニング等の支援の方法を定期的な面談で提案している。	7	4	3	6	面談時等で保護者さまに、職員との関わりについてや保護者さまとお子さまとの関わり方についての助言をさせていただいております。				
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日頃から気になった点があれば、保護者さまに連絡を行い情報共有を行っている。	18	2	0	0	引き続き現状維持につとめます。				
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	他のスタッフと相談し助言を行っている。家庭でも気を付けてもらいたいこと、実施して欲しいこと等の助言も忘れずに行っている。	19	1	0	0	引き続き現状維持につとめます。				
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナ過の中で実施が止まってしまっているが、今後保護者さま同士の悩みを共有できる場所を独自で開く予定となっている。	3	3	8	6	コロナも終息してきているので、今後保護者さま同士の悩みを共有できる場所を独自で開く予定となっております。				

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価（実施数20名）				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
			はい	わからない	どちらでもない	いいえ		
支援	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情担当職員が適切に対応できるようにしている。	13	1	0	6	教室の苦情担当が責任をもって対応させていただいています。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	絵カードやホワイトボードを使い、視覚的に提示しながらの説明や、順序立てて特性に応じた情報の伝達を行っている。保護者さまには、些細なことなど随時共有を行っている。	19	0	0	1	引き続き、お子さまの特性に応じた情報伝達を行ってまいります。保護者さまには、些細なことでも共有を行い連携を図ってまいります。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	HPや各種SNS(LINE、Twitter、Instagram)などで弊社の日々の様子を発信している	16	3	0	1	現在、HPや各種SNS(LINE、Twitter、Instagram)などで弊社の日々の様子や悩み事などを記入したコラムなどを発信しております。より保護者さまに発信できるよう、努めてまいります。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報については、契約時に同意書を取り交わしている。また、職員一同細心の注意を払っている。	19	0	0	1	引き続き、個人情報の取り扱いについては十分に注意し対応してまいります。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルの作成を行い、研修スケジュールに従って職員に周知している。また、保護者さまにはマニュアル更新、契約書類に追加される内容については、共有を行っている。	16	2	0	2	各マニュアルの作成を行っており、研修や回覧等で職員に共有を行っております。今後も、保護者さまには、随時共有を行ってまいります。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回消防計画に従い、職員と利用者様を含めた、災害を想定した避難訓練を実施している。各災害避難場所等も、委員会等で取り決めたと、職員に共有を行っている。	17	0	0	3	年に2回消防計画に従い、職員と利用者様を含めた、災害を想定した避難訓練を実施しております。今後は、実施時の内容等を報告の方法を考え、共有に努めます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止委員会を設置し、虐待防止に備えた内容の研修等を行っている。	/				虐待防止委員会を設置しており、虐待防止のための内容理解と対応策を踏まえた研修を実施しております。職員の認識統一を行っております。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束時の対応策を考え、職員全体に周知している。また、その内容を保護者さまに承諾を得たのち、必要書類に記載している。	/				
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者さまからの情報を受け、随時職員に共有することで対応を行っている。	/				
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	些細なことでもヒヤリハットを作成する意識を持つよう心がけている。拳がった事例については職員全体で共有を行うこと、マニュアルを追加しながら再発防止に努めている。	/				